

# さくら教室だより

カラー版は九小のHPで公開しています。



令和7年5月12日  
東久留米市立第九小学校  
校長 山本 真美枝  
特別支援教室 担任



## 指導が始まり、1か月が経ちました



さくら教室の指導が始まり、1か月が経ちました。子どもたちは、新しい先生や友達との関わりの中で、学習を頑張っています。春晴れが続き、子どもたちは元気に外遊びをしています。汗を拭くなどの清潔意識をしっかりとらせていきたいです。自分の体調をしっかりと管理する力や、適切な衣服の着脱なども指導していければと思います。ご家庭でもご指導をしていただきたく思います。



### <個人面談のお知らせ>



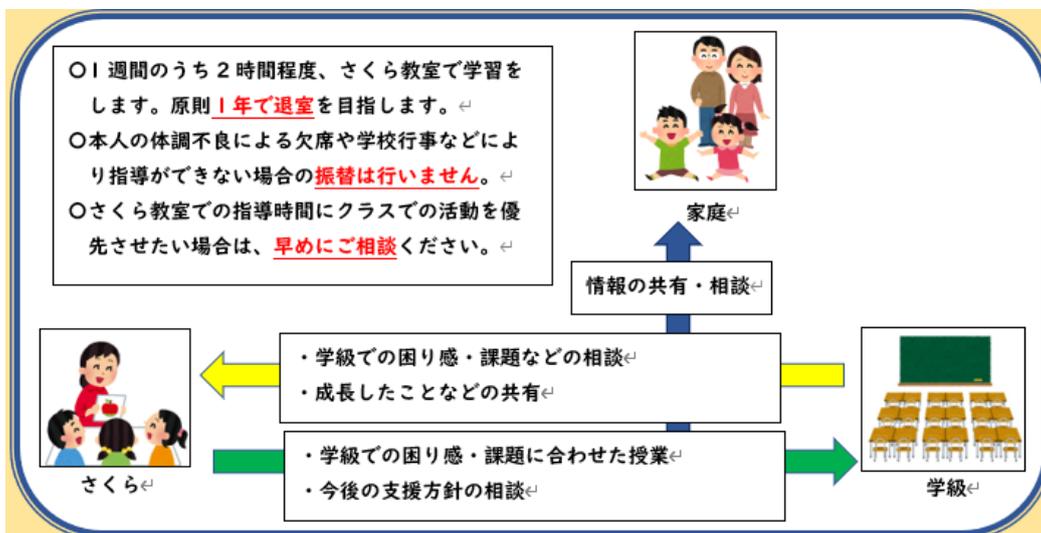
来月から、さくら教室の個人面談が始まります。日程調整のアンケートを配布いたしましたので、可能なお時間に印をつけてください。ご多用とは思いますが、書類の確認もありますので、ご出席よろしくをお願いします。面談の際に【前期の連携型個別指導計画】の目標をご相談します。

保護者会資料にも書きましたが、さくら教室の面談に担任の出席は原則としてありません。

各校共に、在籍学級の面談が6月下旬や夏休み初頭にあるため、話す内容が重複することが多いことが理由です。もしも担任の同席をご希望される場合は、ご相談ください。



### ○担任の先生とはこのように連携をとっています



原則として、個別・小集団両方の授業が終わった日の放課後に青ファイルをもっていき、担任の先生と児童の様子や成長・課題を話し合っています。

児童の退室において学級・さくら双方で具体的なイメージを共有し、個に応じた指導や支援を充実させていきます。

## 【さくら教室のちょこっとコラム】



○今回のテーマは衝動性！

お子様が衝動的に動いてしまうことでお困りになっている保護者の方もいるかと思います。

例えば、「目に入ったものにすぐに飛びついてしまう」、「欲しいと思ったものをもってしまう」、「待てない」、「すぐに他害行為に出てしまう」など、衝動的に動いてしまうことで、なにかトラブルに発展してしまうのではないかとご不安を抱かれてしまうこともあるのではないのでしょうか。

### 「衝動性が高い」をリフレーミングしてみよう



リフレーミングとは、いつもマイナスに言われるようなことを違う角度から見直し、よいこととして捉えようという活動です。

例えば、「衝動性が高い」ということをリフレーミングしてみると「活発」「活動的」などと言い換えることができます。そこで、その「活発」や「活動的」というのをどうやって良い方向に向かわせるかを考えていきたいと思います。その点でやはり大事なことは、突発的に動いてしまうのを抑え、動く前に考える力を伸ばしていきたいということです。そこで以下のようなトレーニングをさくら教室では実施しています。ご家庭でもやってみてください。

#### ジェンガ

積み上げた木材を少しずつ引き抜きながら、崩さないようにするゲームです。これは、以下のような力をつけるねらいがあります。

- ・慎重に動くという脳への命令のトレーニングになる
- ・「次はどこを抜こうか」と動く前に考える経験が積める
- ・「どこを抜けばどうなるか」と先のことを考えなくてはならない



#### 石積み

そこらにある石をただ積むだけの活動ですが、高く積むために考えることと、ゆっくり動くことが活動の中にあるので、バランスゲームと同じ効果が望めます。また、自分で探した石を使うことで、愛着もわき、集中力も増します。



#### ピンポン玉運び

スプーンにピンポン玉を乗せて、落とさないように歩く活動です。周囲に注意を払いながら、慎重に動く練習になります。また、応用編として、先生が手を叩くと「止まる」という指令をだし、体を自分でコントロールする力の育成を目指しています。